

英語活動・英語研究委員会

1 研究テーマ

外国語や異文化に対して興味・関心を高めながら、すすんでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるための指導はどうあったらよいか。

2 研究内容

(1) 研究授業

期 日 平成22年11月17日(水)

学校・学年 小布施町立栗ヶ丘小学校 3年

小布施町立小布施中学校 3年

単 元 名 自己紹介をしよう

授 業 者 鶴田恵市教諭(栗ヶ丘小) 中澤美都教諭(小布施中)

(2) 研究内容

- ①子ども達が、外国語を通してすすんでコミュニケーションを図る活動の場面と学習内容の工夫
- ②小学校と中学校の連携のあり方
- ③外国語や異文化に対し、興味・関心を持たせるための手だての工夫

3 研究の成果

(1) 指導の実際(公開授業)

研究内容の②である小中の連携のあり方の1例として、英語を用いての交流学习の授業を公開した。
What ~ do you like? I like ~.の表現を使ってお互いにインタビュー活動を行った。

小学校での外国語活動では、文字を書いたり読んだりはないが、ゲームなどの活動を通して自分から英語を話そうとする積極的な態度の育成が必要とされている。また積極的な態度という点においては、中学生にとっても同じように必要な力である。

今回の交流授業では、3年生の子ども達が中学生に積極的に話しかける様子が見られた。いつもの授業では、よく知るクラスの友だちとだけ話をしている小学生にとって、中学生は外国の人を相手にするような感覚になれる対象であったようだ。前時は、はにかんでいる様子も見られたようだが、2回目の交流である本時には、打ち解けた笑顔で活動していた。

また、中学3年生にとっては、小学生は、幼く手助けをしなければならない相手であり、自分が見本を示さなければという意識を持って、活動することができた。始めは自分から話しかけるのをためらう様子もあったようだが、本時では、普段の授業で比較的消極的である生徒も、小学生をリードすることができ自信を持ったようであった。

